



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～



10月5日（日）に行いました体育大会。

今年の体育大会のスローガンは、「永遠の強い絆で結ばれた 111 の仲間達で 最後までぶつかり合い 心を燃やして みんなで全力超えていけ」でした。その中でも子供たちが大切にしている言葉が「絆」。

大会旗の大旗には、「絆」の文字を配し、その周りには、子供たち全員と職員の手形。開会式で聖火とともに入場し、競技中は本部席横で大会を見守り、プログラムの最後では、子供たちの表現とともに、運動場ではためきました。

今年の体育大会は、この「絆」をいろいろなところでたくさん見ることができました。

6年生は、応援合戦の下級生への指導を仲間と協力しながら行うことができました。一つずつ着実に動きと心を全体へ広げていくことができました。また、6年生企画では、担当の児童が、「大玉宅配便」という全校種目を完成させました。職員会議での提案や事前の試行などを重ね、仲間と打ち合わせ重ねながら、自分たちの力で全体を動かすことができました。

もちろん、他の学年も暑い中での練習を、お互いに「がんばろう！」と声を掛け合いながら、本番での200点の出来を目指して頑張りました。低学年が運動場で練習している時、「絆」の旗を試しに飾ってみると「絆が出てきた～」と歓声があがっていました。

子供たちは、この「絆」を意識しながら、練習や本番を迎えていたようですが、子供たち以外にも「絆」が垣間見えるものがありました。

夏休み中から運動場の除草や整地など、たくさんの保護者の方や地域の方がご協力くださいました。当日の朝も、前日降った雨による水たまりを除去するため、早朝から自主的にご協力くださる保護者の方。更に、体育大会終了後もテント等の後片付けなどを本当に最後の最後までご協力くださる保護者の方・地域の方。他にも数えきれないほどの方々が、様々なところで子供たちのためにお力を貸してくださり、本当に助かりました。

この千代田東部小校区の「強い絆」を感じることができた体育大会でした。熱く、あたたかい感動の大会でした。



~~~~~「絆」を深めた体育大会のひとこま~~~~~

